

**留学先国名** : アメリカ

**留学先学校名** : Lindenwood University

**留学期間** : 平成 25 年 8 月 19 日 ~ 平成 29 年 5 月 30 日

今回の報告は 2017 年度の春セメスターについてです。このセメスターで短かった 4 年間の大学生活が終わりました。今回のセメスターは以下の通りです。

月水金 8:00~9:00 Childhood Disorders、月 13:00~15:15 Group Theory、月水 18:00~21:00 Fibers II、火木 12:30~15:15 Painting II、15:30~18:20 Figure Drawing II

Childhood Disorders は psychology のクラスで、ADHD、CD、OCD など様々な幼少期、青年期の障害について学びました。障害の特徴、原因、治療方法などを学び、リサーチペーパーも提出しました。テストは毎 2-3 週間に 1 回オンラインで受けました。Open book だったのですが、範囲が広がったのでなかなか大変でした。将来はセラピストとして子供のクライアント担当にもなりたいので、このクラスは本当に履修してよかったです。

Group Theory も psychology のクラスで、どのようにグループをリードしていくかを学ぶのがこのクラスの主要な目的でした。セメスターの前半は教科書を使って主なトピックを学び、後半は実際にクラスの中で学んだことを実践しました。12 人のクラスだったのですが、co-leader と二人で 1 時間程度クラスメートをクライアントと見立てて、そのグループをリードしました。初めて大人のグループをリードしたので難しかったのですが、その分学ぶことも多かったので自身のためになりました。

Fiber はアートのクラスで今回はレベル 2 のクラスだったので、レベル 1 の時と違い決まった課題はなくて、自分の好きなものを制作することができ、とても楽しみました。

Painting は oil paint を使うのが初めてだったので、新しいことにチャレンジでき、とても有意義なクラスとなりました。特に嬉しかったことは、セメスター中盤で oil paint で描いた自画像が annual juried exhibition (学校で 1 年に 1 回開催されるエキシビション) のペインティング部門で 1 位を取れたことです。初めてこのエキシビションで賞を取ることができ、そしてそれは自分が楽しんで描いた作品だったので、とても満足しました。

Figure drawing もレベル 2 のクラスだったのですが、前のクラスと同じプロフェッサーで、とてもリラックスしたクラスで、毎回課題は多かったです、楽しかったです。

水曜日は朝の授業の後、夜の授業まで長時間空いていたので、10:30 から 17:30 までインターン・シップに取り組みました。薬物治療センターでのアートのグループでのインターンだったのですが、大人、子供両方のクライアントのグループを担当の人と一緒にリードして、自分も早くアートセラピストになりたいと思うことができました。インターンが終了した後は、各週のジャーナルと 10 ページ程度のリサーチペーパーを提出して無事インターンの単位の認定となりました。

そして、3 月からは late start class が始まり、さらに忙しくなりましたが、3 月の終わりにはインターンも

無事終わったので、なんとか最後まで乗り切ることができました。Late start は自身の分野には関係ありませんでしたが、卒業までの単位のために online の social welfare のクラスを一つ取っていました。専攻には関係ない科目でしたが、セラピストとして働くなら、social welfare のことも知っておかなければいけないので、ためになったと思います。

キャンパス内での仕事は引き続きアートスタジオで働かせてもらい、慣れた環境で仕事ができるのはとてもラッキーだと感じました。今年は tax return のプロセスも自分でこなし、大変さも自身の成長も両方実感することができました。

卒業式は 5 月最初の土曜日でした。金曜日の朝にインターンのリサーチペーパーを提出した後、ルームメートが彼女の家で grad party を開いてくれ、金曜日の夜はそこで泊まらせてもらい、土曜日の朝寮に帰ってきて、卒業式までの準備や掃除などをしました。日曜日のお昼には寮を出なければならなかったのでパッキングなどが大変でしたが、土曜日のお昼には友達と彼氏とキャンパスで卒業式のガウンとキャップを被り写真を撮りました。卒業式は午後 7 時から 10 時頃までで、大学最後のイベントはとても感慨深いものでした。親は来れなかったのですが、ホストファミリーと友達、彼氏に来てもらい、とても恵まれた環境にいると感ずることができました。

私はこれから 1 年間 OPT (Optional Practical Training: 留学プログラム修了後の企業実地研修) をした後、大学院へ進学するつもりです。現在は 6 月からの OPT に備えてホストファミリーの家に 1 ヶ月ほどお邪魔しています。そのためにこの一年で奨学金を見つけたり、大学院へ行くための準備をします。今まで学校の中にいた 4 年間よりも、さらに大きなチャレンジになると思いますが、しっかりやるべきことを着々と行動に移し、1 年後も自信を持った自分でいたいと思います。

これから留学する皆さんも、行動あるのみですので、お互いに夢に向かって頑張ってください！